

本気の婚活男女・別れの原因第1位「価値観の違い」・恋愛遍歴を調査！

付き合った人数、男性は「0人」も！女性は「4.3人」と男性の1.2倍に！

株式会社Parasol(本社：東京都港区、代表取締役社長：傘 勇一郎)が運営する未婚男女のマーケティング研究機関『恋愛婚活ラボ』は、2020年7月3日(金)～8月22日(土)の期間において、婚活男女100人(男性48人、女性52人)を対象に、過去の恋愛遍歴・希望の結婚相手について独自調査いたしました。

- 【1】婚活男女の「別れ」の原因TOP5を調査！第1位は「価値観の違い」
- 【2】付き合った人数、女性は「4.3人」と男性の1.2倍に！
- 【3】婚活男女が結婚相手に求める「年収TOP3」！男女ともに「現実思考」傾向に

【1】婚活男女の「別れ」の原因TOP5を調査！第1位は「価値観の違い」

婚活男女の「別れ」の原因 TOP5

<男性編>		<女性編>	
1位 価値観の違い	22.9%	1位 価値観の違い	32.7%
2位 環境の変化	18.8%	2位 結婚願望の違い	19.2%
3位 結婚願望の違い	14.6%	3位 遠距離恋愛	9.6%
4位 遠距離恋愛	12.5%	4位 恋人の浮気	7.7%
5位 性格の不一致	6.3%	5位 環境の変化	5.8%

婚活男女100人(男性48人、女性52人)を対象に「最後に付き合っていた人との別れた原因」を調査したところ、男女ともに1位は「価値観の違い」でした。男性の2位は、就職や転職などの「環境の変化」、3位は転職などの「遠距離恋愛」、4位は「結婚願望の違い」、5位は「性格の不一致」でした。

女性の2位以下を見ていくと、2位は「結婚願望の違い」、3位は「遠距離恋愛」、4位は「恋人の浮気」、5位は「環境の変化」という結果になりました。

調査人数：100人
男性 48人 [平均年齢 29.8歳]、女性 52人 [平均年齢 29.7歳]
実施日：2020年7月3日～8月22日

※恋愛婚活ラボ独自調査

男女ともにある「価値観の違い」とは具体的には「優先順位の違い」であることがわかりました。お互いの人生における大事なものや優先順位がかけ離れていると、結婚とはいかず別れてしまうことが多いようです。例えば、恋人との時間を最優先したい人と、仕事や趣味を最優先したい人では、当然ながらうまくいきません。また、就職や転職などの「環境の変化」で休みが合わなくなってしまうたり、遠距離恋愛で物理的に離れてしまい、別れに至ることも多いようです。「結婚願望がある・ない」の違いで別れるカップルも多く、価値観以外の面では「タイミング」も大きな要因として挙げられます。環境が変わる前に、結婚願望が互いに高まっているタイミングで結婚するのも、1つの手だと考えられます。

※当記事のテキストや画像を引用・転載の際は弊社にご一報いただき、「恋愛婚活ラボ調べ」と明記いただきますようお願い申し上げます。

恋愛婚活ラボ / <https://renai-konkatsulab.com/>

TEL : 090-6806-2890 Mail : info@parasol-inc.com

※本資料に記載の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【2】付き合った人数、女性は「4.3人」と男性の1.2倍に！

付き合った人数ランキング

＜男性編＞		＜女性編＞	
1位 3～5人	35.4%	1位 3～5人	36.5%
2位 1～2人	22.9%	2位 1～2人	23.1%
3位 0人	18.8%	3位 6～9人	23.1%
4位 6～9人	16.7%	4位 10人以上	9.6%
5位 10人以上	6.3%	5位 0人	7.7%

調査人数：100人
 男性 48人 [平均年齢 29.8歳]、女性 52人 [平均年齢 29.7歳]
 実施日：2020年7月3日～8月22日

※恋愛婚活ラボ独自調査

婚活男女100人を対象に、「過去に付き合った人数」を調査したところ、男性平均は「3.6人」、女性平均は「4.3人」という結果になり、女性の方が男性よりも「約1.2倍」恋愛経験が豊富なことがわかりました。今回調査した婚活男女の平均年齢は、男性「29.8歳」、女性「29.7歳」であり、年齢差による恋愛経験の差ではないことがわかります。

注目すべきは、男性は、過去に付き合った人数が「0人」と回答した人が18.8%おり、第3位の結果となりました。一方、女性は「0人」と回答した人は「7.7%」であり、少数となりました。

これは、「日本の生涯未婚率」のデータにもみられる傾向であり、女性13%、男性は23%と、女性よりも男性の方が生涯未婚率が高いです。これらのデータをさらに読み解いていくと、「結婚を経験したことがある男性」は、離婚後も他の女性と再婚する例が珍しくありません。

つまり、「1度も結婚したことのない男性」は、結婚に縁遠く、「結婚を経験したことがある男性」は、離婚後も他の女性と結婚しているデータがあり、「男性の生涯未婚率が女性よりも多い」という数値にあらわれています。交際経験も上記と同じことが言えます。モテる男性は過去に多くの女性とお付き合いし、女性から縁遠かった男性は交際経験「0人」のまま、ということになります。モテる男性は、学生時代から交際経験があるため、恋愛経験値があがり、結婚に結びつく人が多い傾向にあります。一方で、付き合った人数の少ない男性においては、今の時代は「マッチングアプリ」などで様々な趣味や価値観を持つ相手を探しアプリ上でコミュニケーションをとることができるので、直接的な会話のうまさや、スマートな振る舞いといった「恋愛経験値」に関係なく、多くの出会いのチャンスがあるとさえそうです。

【3】婚活男女が結婚相手に求める年収TOP3！男女ともに「現実思考」傾向に

結婚相手に求める年収 TOP3

＜男性編＞		＜女性編＞	
1位 気にしない	81.3%	1位 自分と同じかそれ以上	40.4%
2位 マイナス 200 万円以上	6.3%	2位 気にしない	23.1%
3位 マイナス 100 万円以上	4.2%	3位 プラス 100 万円以上 プラス 200 万円以上	(同率) 5.8%

調査人数：100人
 男性 48人 [平均年齢 29.8歳]、女性 52人 [平均年齢 29.7歳]
 実施日：2020年7月3日～8月22日

※恋愛婚活ラボ独自調査

婚活男女100人を対象に「結婚相手に求める年収」を調査したところ、男性のTOP3は第1位「気にしない（81.3%）」、第2位「自身の年収よりマイナス200万円以上（6.3%）」、第3位「自身の年収よりマイナス100万円以上（4.2%）」となりました。一方、女性のTOP3は、第1位「自身の年収以上であれば（40.4%）」、第2位「気にしない（23.1%）」、第3位「自身の年収よりプラス100万円以上（5.8%）」、「自身の年収よりプラス200万円以上（5.8%）」という結果になりました。

※当記事のテキストや画像を引用・転載の際は弊社にご一報いただき、『恋愛婚活ラボ調べ』と明記いただきますようお願い申し上げます。

恋愛婚活ラボ / <https://renai-konkatsulab.com/> TEL：090-6806-2890 Mail：info@parasol-inc.com

※本資料に記載の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

「年収600万円以上を希望する女性が多い」、という報道もみられますが婚活女性に対して実際に話を聞くと、大半の女性が「自身の年収と同じか、それ以上あれば金額は問わない」と答えます。

「マッチングアプリ」においては、年収の高い男性は人気がありますが、それは「相手を選ぶ」時点の話であり、あくまでも「希望条件」です。現実的な「必須条件」では、婚活女性は、男性に対して、「自身と同じ年収かそれ以上であれば金額は問わない」と考えている人が増えています。また、今回話を聞いた婚活女性らは、全員が「結婚後も、自身の仕事を続けたい」と答えていました。

このような結果になる理由としては、新型コロナウイルスの流行で経済の先行き不安を経験し、男性のみの収入・一本足打法だけでは、将来が不安だと思っている女性が増えたからだと考えられます。婚活男女にとっては、「暮らしのグレードをあげる」ことが結婚の目的ではありません。「なぜ結婚したいのか?」と尋ねると「将来孤独になりたくないから」と回答する人が増えています。彼らが結婚に求めているのは「誰かと繋がっていたいから」であり、「裕福な暮らし」ではないということがわかりました。

【4】恋愛婚活ラボ所長より

婚活男女に、交際相手に求めることを聞くと「価値観が合う人」と回答します。一方で、「別れ」の原因第1位は「価値観の違い」でした。現在、生き方が多様化して様々な価値観が受け入れられてきた一方で、価値観の一致は、長く一緒にいるために必要な条件です。特に、コロナ禍の現在、例えば「どれくらいの期間自粛しているのか」「どの程度自粛するのか」などは、価値観の違いが顕著にあらわれます。新型コロナウイルスに関する考え方などをデート中に聞いて、相手の価値観を知ることは、今後、より重要になってくるでしょう。

また、今回の調査で、「男女の恋愛経験」は、大きく差があることがわかりました。男性は、「恋愛経験が豊富な人」と「恋愛経験がゼロの人」との差がはっきりしています。そして、女性は、恋愛経験が豊富な男性と恋愛することにより、男性に求めることがだんだんと上がってきてしまいます。本来、過去の恋愛経験は、結婚して家庭を営む上ではさほど必要ありません。しかしながら、女性に対する恋愛の対応方法を知らない男性は、最低限のコミュニケーションも苦労することが多いのも事実です。恋愛経験の少ない男性には、「趣味を持つこと」が、今後の婚活の鍵だと考えます。男性も女性も、「価値観の違い」が原因で別れています。趣味が同じであるという男女は、ライフスタイルなどの価値観が似ていることが多いです。単純に、自分が好きなものが相手も同じ、という状態は、一緒にいて居心地良く、会話に困ることが少ないです。男性も女性も、仕事以外の「趣味」を持ち、同じ趣味を持っている人を探してみるのには、これからの婚活の1つのポイント手だと考えます。

【所長プロフィール】



伊藤早紀(いとうさき、1990年9月17日-)

恋愛婚活ラボ所長。マッチングアプリの総合メディアを運営し、結婚相談所の仲人も務める所長伊藤早紀が自ら未婚男女に聞き込みをして得た知見を調査に活かしている。自身も20個以上のマッチングアプリをやりこみ、出会った男性は100人以上。2018年の夏に「出会い2.0 スマホ時代の「新」恋愛戦術」を出版し、最旬のマッチングアプリ情報を発信。

また、2019年8月に開設された「堀江貴文の女性限定オンラインサロン」では、特任教授にも任命されている。

Twitter : <https://twitter.com/matchappsaki>

YouTubeチャンネル「マッチングアプリ専門家さき」

<https://www.youtube.com/c/matchappsaki>

■ 恋愛婚活ラボ 概要



株式会社Parasolが運営する、イマドキの未婚男女に特化したマーケティング機関。恋愛や婚活に悩める未婚男女のリアルな本音を調査し、彼らが抱える課題を紐解き、幸せな恋愛・結婚をするための一助を担う。

所長：伊藤 早紀（株式会社Parasol）

ホームページ： <https://renai-konkatsulab.com/>

■ 株式会社Parasol 概要



マッチングアプリを中心とした出会い・婚活メディア「マッチアップ」や、結婚相談所マリッジアップを運営する他、恋愛・結婚に関わる様々な事業を運営。「世界一男女をくっつける会社になる。」という企業理念の元、男女が出会って恋をして結ばれる、素敵な体験を届けることにコミットする。

設立年月日：2017年1月23日

代表取締役社長：傘 勇一郎

ホームページ： <https://match-app.jp/company>

◇事業内容◇

【メディア事業】

マッチアップ： <https://match-app.jp/>

恋愛婚活ラボ： <https://renai-konkatsulab.com/>

婚活キューピッド： <https://konkatsu-cupid.jp/>

Forky： <https://match-app.jp/forky.jp>

YouTube： <https://www.youtube.com/c/matchappsaki>

【結婚相談所事業】

マリッジアップ： <https://marriageup.jp/>

報道に関するお問い合わせ先

株式会社Parasol

広報担当 伊藤 早紀

〒105-0011 東京都港区芝公園4-6-8 bijin-BLDG. 3F

TEL：090-6806-2890

Mail： info@parasol-inc.com

※当記事のテキストや画像を引用・転載の際は弊社にご一報いただき、『恋愛婚活ラボ調べ』と明記いただきますようお願い申し上げます。

恋愛婚活ラボ / <https://renai-konkatsulab.com/> TEL：090-6806-2890 Mail： info@parasol-inc.com

※本資料に記載の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。